

クリモト創造技術研究所



1. はじめに

今年3月12日、クリモト創造技術研究所が産学・民・事業部の中核拠点として住吉工場内に完成しました。

この施設は4階建て、延べ床面積2,800m²で、社内外の技術情報を集約し、最新の研究に取り組みながら、さまざまな部門とのコラボレーションが誕生する場です。

また、ナノ・材料研究所をはじめ、燃料電池、マグネシウム合金、バイオ、並びに新エネルギー関連の技術者集団を擁します。さらに、その建設には、バルブや建材をはじめ、各種クリモト製品を一部使用するなど、開所前からすでに連携が始まっています。

2. 設立目的

クリモト創造技術研究所では以下の項目をその設立目的としています。

①クリモトグループ全体の研究戦略の立案、並びに研究者、高度技術者人材育成の場としての機能を果たします。

②ナノ・材料研究所を中核として、民需を主体とした事業部とのコラボレーションにより、新技術、新製品開発を推進します。コラボレーションには、各事業部から担当者が集まり実施します。研究開発終了後、事業部へのテクノロジー・トランスファーを円滑に進めるため、開発担当者もそれぞれの事業部に戻って新製品化を推進

します。

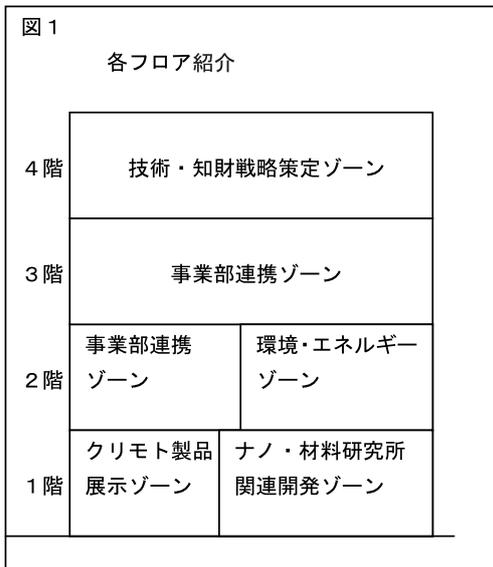
③「ナノ・材料研究」「環境・エネルギー」「ライフサイエンス」などの領域で研究開発に取り組めます。

3. フロア紹介

館内の各フロアを図1のようにゾーン分けし、研究開発に取り組めます。

①1階は「ナノ・材料研究所 関連開発ゾーン」です。ナノ粒子プロセス技術や、ナノ・材料技術の研究開発の場と位置づけます。

同時に「製品展示ゾーン」を設け、クリモト製品の説明コーナーを設置します。この展示ゾーンは来場者の誰もが自由に見学できます。



②2階は「環境・エネルギーゾーン」として、FC(燃料電池)関連技術やバイオ関連技術(微生物利用技術)の試験研究を進めます。

また、一部「事業部連携ゾーン」として、高性能金属材料の開発にも取り組めます。

③3階は「事業部連携ゾーン」です。

このフロアでは、技術開発本部が各事業部だけでなく、グループ会社とも連携しさまざまな研究開発に取り組めます。

3階には全社共有の分析機器を設置し、全クリモトグループの研究者が自由に使用できるようにしているなど、事業部とのコラボレーション

推進に特化した機能を持たせています。

④4階は「技術・知財戦略策定ゾーン」として、最大60名を収容可能な会議室も設置し、クリモトグループ全体の技術・知財戦略の議論・意思決定の場と位置づけています。

このフロアで議論・策定されたそれぞれの戦略を階下の研究フロアで実践すると共に、全クリモトグループに展開していきます。

4. おわりに

早くも5月10日には、研究所の竣工を記念したシンポジウムを開催することも決定しています。これを起点として、クリモト創造技術研究所は単なる研究所としての機能だけでなく、今後いっそう、社内外への技術情報の発信源としての役割も担っていきます。

お問い合わせ先：

技術開発本部 技術統括部
TEL06-6686-3208